

令和元年度

参加・体験・実践型 交通ボランティア養成事業運営支援業務

事業報告書

令和2年3月

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

目 次

．令和元年度 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業 実施概要

1．事業の目的	1
2．事業の概要	1
3．実施地区概要	2

．実施地区の報告

1．千葉県	3
-------	---

．参加者等アンケート集計結果の概要

1．千葉県	7
-------	---

資料

1．事業打合せ資料	13
2．実施マニュアル（例）	20
3．アンケート調査票（千葉会場）	32
4．各地区啓発資料・配布グッズ一覧	34

令和元年度 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業 実施概要

1. 事業の目的

本事業は、内閣府が地方公共団体の提案を受け、当該地域の実情を踏まえた上で、当該地域において必要な交通安全に資する事業を実施することにより、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的とする。

2. 事業の概要

県、市町村、所轄警察署、保育園・幼稚園や小学校、PTA、高齢者団体及び交通関係団体等との連携・協力のもと、実施地区ごとに交通ボランティア等を中心とする実行委員会を設置する。実行委員会は、参加者の理解・共感を促し、地域の交通実態に合った参加・体験・実践型のプログラムを決定し、これを実施する。

プログラムの実施後には、実施結果等を踏まえて、今後の当該地域における交通安全活動がより効果的・効率的なものとなるよう、実行委員会としての意見を取りまとめる。

(1) プログラム実施期間

概ね令和元年10月下旬から12月上旬までに実施する。

(2) 実施地域等

千葉県柏市において実施した。

実施地区は、県からの提案に基づき、県ごとの交通事故発生状況、地域の交通安全教育事情を考慮して選定した。

(3) 参加者

千葉県柏市：高齢者
を対象として実施した。

(4) 実施方法

実施地域ごとに各地域の実情に即したプログラム内容や参加者の募集方法等を検討し、プログラム当日の運営等に携わった。

プログラム実施後は、参加者を対象としたアンケート調査を実施するとともに、本事業を実施した結果を踏まえ、地域における交通安全教室等の実施方法・内容が今後より効果的かつ効率的なものとなるよう意見を取りまとめた。

事業実施に際しては、県、実施市及び地域において日常的に交通安全活動を行っている交通ボランティア団体を始めとした関係団体や機関(高齢者団体、所轄警察署等)との連携を図り、協力を得て行った。

3. 実施地区概要

(1) 実施地区・期日・会場等一覧

	開催県	実施市町村	実施期日	実施会場
1	千葉県	柏市	12月2日(月)	柏南自動車教習所

(2) 実施地区の参加者数一覧

	開催県	実施市町村	参加者総数	子ども	保護者	高齢者
1	千葉県	柏市	40名			40名

本年度は長野県での実施も予定しておりましたが、昨年10月の自然災害の影響により実施を中止いたしました。

・実施地区の報告

千葉県 柏市

事業の概要

1．事業名

「高齢者交通安全教室」

2．主 催

内閣府、柏市

3．事務局

柏市、一般財団法人日本交通安全教育普及協会

4．実施会場

柏南自動車教習所（千葉県柏市高柳市 21 番地）

5．実施日時

令和元年 12 月 2 日（月） 9：00～12：00 雨天の中、全プログラムを実施

6．参加者

柏市内の高齢者 40 名

7．プログラム内容

・開会

・座学

柏市内の交通事故発生状況と高齢者の交通事故防止対策等」

講師：柏警察署交通課 岩井 聡

・自動車運転実技教習

・交通安全体験

サポカー体験

交通安全適正診断車「ちとらくん」

飲酒ゴーグル体験

・閉会（閉会行事、アンケート回収等）

8．実施体制

本事業は、地域の交通事情・交通安全教育の実情等を考慮した内容とするため、日頃、地域において交通安全教育や交通安全活動等に携わっている柏市の交通安全対策担当及び柏南自動車教習所が中心となってプログラムの企画と運営にあたった。

9. 実行委員会等開催経過

事前打合せ

期日：令和元年 10 月 31 日（木）

会場：柏南自動車教習所

協議事項：趣旨説明

実施主体の検討

実施日・会場の検討

参加予定者の検討

参加者募集方法の検討

実施プログラムの検討

配布資料（リーフレット、反射材用品）の検討

第 1 回打合せ

期日：令和元年 11 月 19 日（火）

会場：柏市役所 交通施設課 「会議室」

協議事項：実施プログラムの検討

当日日程の検討

役割分担について

協力スタッフについて

第 2 回打合せ（事後）

期日：令和元年 12 月 25 日（水）

会場：柏市役所 交通施設課 「会議室」

協議事項：事業の評価及び反省等

参加者アンケート集計結果

10. 事後実行委員会総括（事務局まとめ）

実施についての感想

- ・テレマティクスからのデータを元に、市内の交通事故発生状況及び高齢者の交通事故防止対策の講義は大変参考となった。残念ながら準備期間が短く、テレマティクスの有効な活用には 3 か月程度あるとより効果が上がるのではないかと。
- ・午前中の 3 時間という事業実施時間は集中するのに適度な時間設定である。
- ・事業を実施する際には、会場までの送迎についても検討する必要がある。

成果と課題・今後の取り組み

- ・内閣府に支援いただき、高齢者の交通安全を主とした交通安全イベントを実施できたことはとても有意義である。
- ・今回の経験を各団体が実施する交通安全活動に活かしていくことが必要である。

11. 実施の様様



(開会式)



(講義)



(自動車運転実技講習)



(自動車運転実技講習)



(自動車運転実技講習)



(サポカー体験)



(サポカー体験)



(交通安全適正診断車「ちとらくん」)



(視力・動体視力検査)



(夜間の視認性体験)



(深視力検査)



(講評)

・参加者等アンケート集計結果の概要

本事業では、プログラム終了後に、参加者（高齢者）に対して、本事業を評価する際の参考とするためアンケート調査を実施した。

以下は、その集計結果の概要である。

（１）参加者の属性

属性

参加者の性別は男性が54%（20名）、女性が46%（17名）であった（表1）。

年齢別では70代が48.6%（18名）、次いで60代、80代が21.6%（8名）となっている。（表2）

表1 参加者の性別（問1 - 1）

男性		女性		無回答		総数	
20名	54%	17名	46%	0名	0%	37名	100%

表2 参加者の年齢別内訳（問1 - 2）

20代	0名	0%
30代	0名	0%
40代	1名	2.7%
50代	0名	0%
60代	8名	21.6%
70代	18名	48.6%
80代以上	8名	21.6%
無回答	2名	5.5%
総数	37名	100.0%

運転免許保有の有無

運転免許保有の有無は、保有者が54.1%（20名）であった。（表3）

表3 運転免許保有の有無（問1 - 3）

あり	20名	54.1%
なし	2名	5.4%
無回答	15名	40.5%
総数	37名	100.0%

（２）今日の行事に参加したきっかけ（複数回答）

今日の行事に参加したきっかけは、「交通安全に興味があった」が64.9%（24名）と最も多く、次いで「市町等・敬老会からの案内」、「知人に誘われた」がともに27%（10名）であった。（表4）

表4 参加の動機(理由)(問2、複数回答)

交通安全に興味があった	24名	64.9%
市町等・敬老会からの案内によって	10名	27.0%
知人に誘われた	10名	27.0%
家族に勧められた	0名	0%
おもしろそうだった	1名	2.7%
その他	1名	2.7%

(3) 今日の行事に参加して

感想

今回の行事に参加して、参加者の64.9%(24名)が「大変良かった」、次いで32.4%(12名)が「良かった」と回答した。(表5)

表5 今日の行事に参加して(問3)

大変良かった	24名	64.9%
良かった	12名	32.4%
ふつう	0名	0%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	1名	2.7%

自由記述

- ・若い時のままの気持ちでいつもいるが安全には注意したい
- ・未体験のことを体験できた

プログラムの評価

表6 講義(柏警察署)

とてもよかった	20名	54.1%
よかった	15名	40.5%
ふつう	1名	2.7%
よくなかった	0名	0%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	1名	2.7%

表7 サポカー・スマアシ(自動車運転実技班以外20名)

とてもよかった	8名	40.0%
よかった	12名	60.0%
ふつう	0名	0%
よくなかった	0名	0%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

表8 ちとらくん・飲酒ゴーグル（自動車運転実技班以外 21 名）

大変良かった	10 名	50.0%
良かった	7 名	35.0%
ふつう	0 名	0%
良くなかった	1 名	2%
全然良くなかった	0 名	0%
無回答	3 名	15.0%

表9 自動車運転実技講習（17 名）

大変良かった	14 名	82.6%
良かった	3 名	17.6%
ふつう	0 名	0%
良くなかった	0 名	0%
全然良くなかった	0 名	0%
無回答	0 名	0%

（4）参加しての今の気持ち

行事に参加しての今の気持ちについて、全ての項目で参加者のほぼ全員が「気持ちが高まった」と回答した（表9）

表9 各項目についての今の気持ち（問4）

	はい		いいえ		無回答	
交通ルールや交通マナーを守らなければいけないという気持ちが高まったか	35 名	95%	0 名	0%	2 名	5%
道路状況や交通状況などに十分注意して行動しようという気持ちが高まったか	35 名	95%	0 名	0%	2 名	5%
友人や仲間と交通安全について話し合おうという気持ちが高まったか	35 名	95%	0 名	0%	2 名	5%
地域の子供たちや地域の皆さんを、交通事故から守ろうという気持ちが高まったか	35 名	95%	0 名	0%	2 名	5%
交通安全のためにあなた自らが地域で何か役割を果たそうという気持ちが高まったか	35 名	95%	0 名	0%	2 名	5%
これからも機会があれば交通安全教室に参加しようという気持ちが高まったか	35 名	95%	0 名	0%	2 名	5%

（5）開催日（曜日を含む）について

開催日について、参加者の 91.9%（34 名）が「良かった」と回答した（表10）

表10 開催日（曜日を含む）について（問5-1）

良かった		良くなかった		無回答	
34 名	91.9%	1 名	2.7%	2 名	5.4%

自由記述

- ・会場を教習所としたことは効果的
- ・月曜日は何かと忙しい
- ・平日の午前中が良い
- ・平日で参加しやすい
- ・多くの方に講習を受けてもらうためには日曜日が良いのでは
- ・大雨で大変だった

(6) 行事全体の時間の長さについて

行事全体の時間の長さについて、参加者の91.9%(34名)が「良かった」と回答した。(表11)

表11 行事全体の時間の長さについて(問5-2)

良かった		長かった		短かった		無回答	
34名	91.9%	0名	0%	1名	2.7%	2名	5.4%

自由記述

- ・あっという間に終了した
- ・集中力を考えると3時間程度がちょうど良い

(7) 参加者の数について

参加者の数について、参加者の89.2%(33名)が「良かった」と回答した。(表12)

表12 参加者の数について(問5-3)

良かった		多かった		少なかった		無回答	
33名	89.2%	2名	5.4%	0名	0%	2名	5.4%

自由記述

- ・全体的にスムーズに進行した
- ・参加人数が多いと体験講習に時間がかかる
- ・もっと多くの方に体験していただきたいと思った

(8) プログラム(種目)の数について

プログラム(種目)の数について、参加者の91.9%(34名)が「良かった」と回答した。(表13)

表13 プログラム(種目)の数について(問5-4)

良かった		多かった		少なかった		無回答	
34名	91.9%	0名	0%	1名	2.7%	2名	5.4%

自由記述

- ・午前中のみだったが、十分な数であった

(9) 各プログラム(種目)の中での説明の仕方について

各プログラム(種目)の中での説明の仕方について、参加者の94.6%(35名)が「良かった」と回答した。(表14)

表14 各プログラム(種目)の中での説明の仕方について(問5-5)

良かった		良くなかった		無回答	
35名	94.6%	0名	0%	2名	5.4%

自由記述

- ・理由等詳しく、わかりやすい説明があった

(10) 全体の流れ(進行)について

全体の流れ(進行)について、参加者の91.9%(34名)が「良かった」と回答した。(表15)

表15 全体の流れ(進行)について(問5-6)

良かった		良くなかった		無回答	
34名	91.9%	1名	2.7%	2名	5.4%

自由記述

- ・短時間の中で充実した内容であった
- ・面白く解説していただき理解しやすかった

事業全体を通して

自由記述

- ・ちとらくんは高度な技術が詰まっている車両で良い体験ができた
- ・違う種類の体験項目等があればまた受講したい
- ・自動車運転実技講習のみであったが、他のプログラムも体験できればよかった

資料

1. 事業打合せ資料

令和元年度

参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業

事前打合せ資料

(一財) 日本交通安全教育普及協会

令和元年度 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業概要

1. 事業名

「令和元年度 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業」

2. 目的

本事業は、内閣府が地方公共団体の提案を受け、当該地域の実情を踏まえた上で、当該地域において必要な交通安全に資する事業を実施することにより、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的とする。

3. 主催

内閣府、実施地区実行委員会

4. 後援

開催県、市区町村、所轄警察署等

5. 事務局

(一財)日本交通安全教育普及協会

6. 実施地域

千葉県(柏市)、長野県(松本市)

7. 実施期間

令和元年10月下旬～12月上旬までの期間

千葉県 柏市 : 12月2日(月)

長野県 松本市 : 10月27日(日)

8. 参加者

千葉県 柏市 : 標準的人数 約150名(高齢運転者)

長野県 松本市 : 標準的人数 約150名(園児・児童の親子)

9. 実施方法

実施地域ごとに実行委員会を設置する。実行委員は、各地域の実情に即したプログラム内容や参加者の募集方法等を検討し、プログラム当日の運営等に携わる。

なお、受託者は実行委員会に参加し、プログラム案が、より一層充実し効果的なものとなるよう、積極的に提案を行う。

プログラム実施後は、参加者及び実行委員を対象としたアンケート調査をそれぞれ実施するとともに、本事業を実施した結果を踏まえ、地域における交通安全教室等の実施方法・内容が今後より効果的かつ効率的なものとなるよう、実行委員会としての意見を取りまとめる。

各地域での実行委員会の設置を始めとした事業実施に際しては、県、実施市区町村及び地域において日常的に交通安全活動を行っている交通ボランティア団体や関係団体・機関(保育園・幼稚園や小学校、PTA、高齢者団体、所轄警察署等)との連携を図り、協力を得るものとする。

10. プログラム内容

実施時間については、3時間程度とする。

例) 交通安全シミュレータ(歩行、自転車、二輪車、四輪車)体験、飲酒運転擬似体験、シートベルトコンビンサー体験、反射材効果実験、交通安全 ×クイズ、交通安全腹話術・紙芝居等

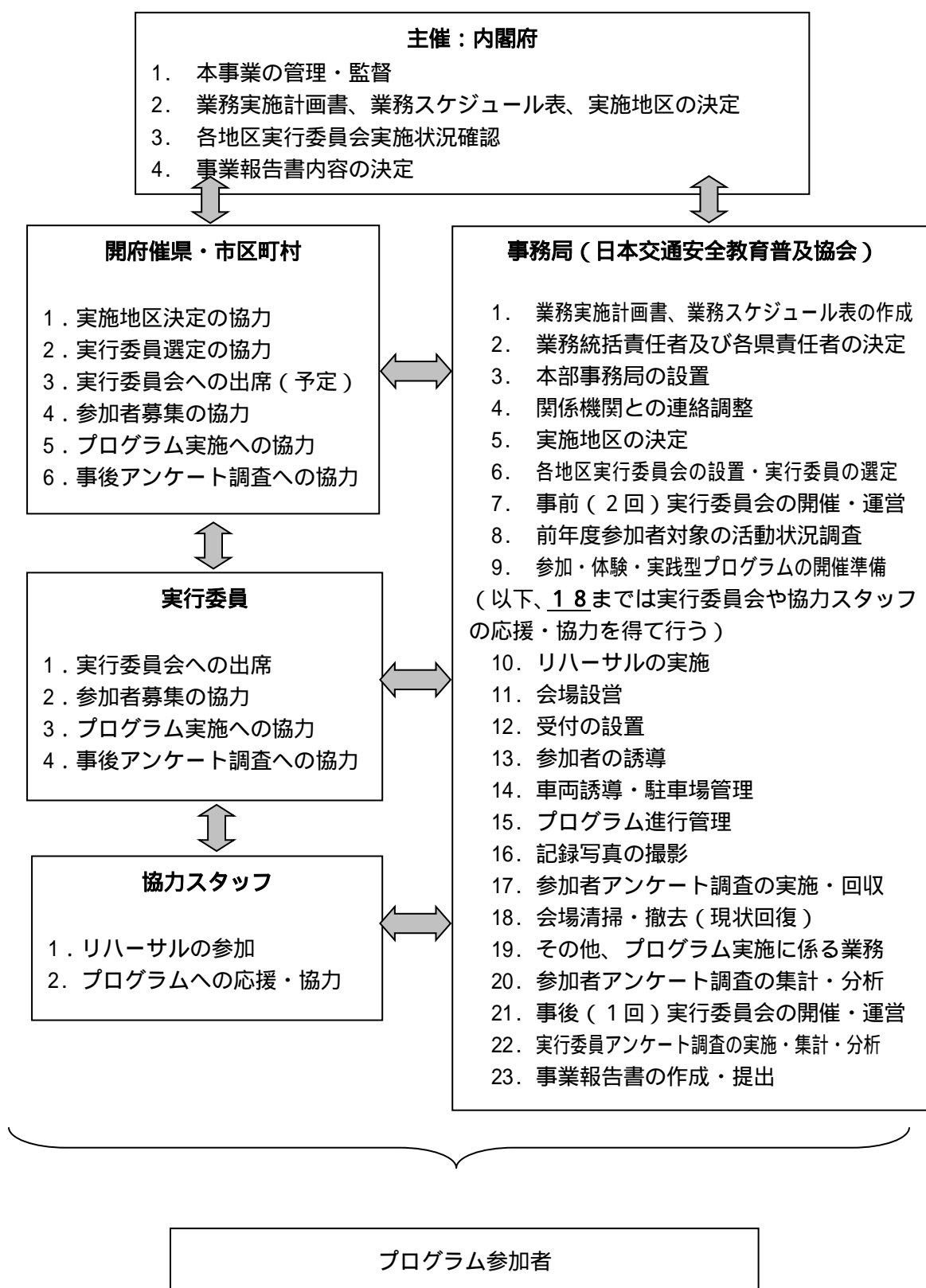
11. スケジュール(予定)

令和元年10月～プログラム実施まで	各地区実行委員会設置、事前実行委員会開催(2回)、会場手配、プログラムの印刷、参加者の募集、消耗品・備品・啓発リーフレット、反射材用品等の選定、調達 各地区実施マニュアル作成、プログラム実施の諸準備等
令和元年10月～12月	各地区でプログラム実施(リハーサル、参加者及び実行委員へのアンケート調査の実施を含む。)
プログラム実施後～	事後実行委員会開催 アンケート調査の集計・分析

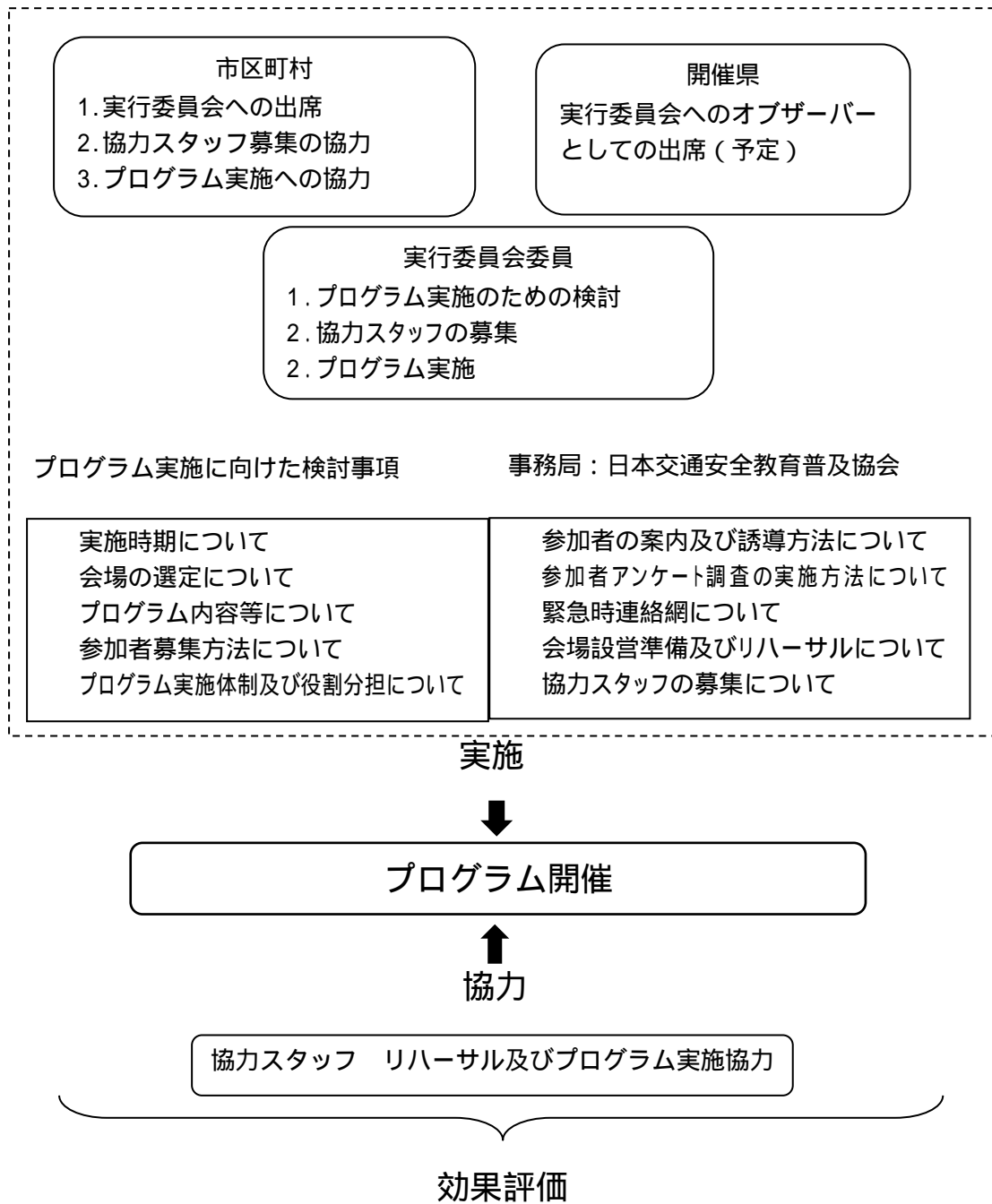
12. 経費の負担

本事業に要する経費は、原則として(一財)日本交通安全教育普及協会(事務局)が負担することとする。

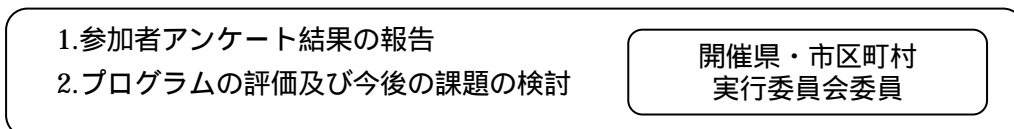
体制図



事前実行委員会の役割



事後実行委員会の役割



「令和元年度 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業」における 実行委員の設置と検討事項について

1. 実行委員会の設置及び委員の選定について

開催県及び市区町村並びに地域において日常的に交通安全活動を行っている関係団体や機関（所轄警察署、保育園・幼稚園や小学校、PTA、高齢者団体及び交通ボランティア団体等）との連携・協力を得て実行委員会を進めてまいりますので、実行委員会委員は、これらの代表者等を中心として選定を行います。（標準的人数は10名程度）

2. 事前実行委員会検討事項について

実施時期について

子ども（園児、小学校低学年児童）や高齢者等が参加する場合については、曜日や開催時間帯等を十分に考慮して実施時期を検討する。

会場の選定について

プログラム内容や参加者数等を考慮するとともに、参加者の交通の利便性等にも十分に配慮した適切な会場の選定について検討する。

○室内会場例：学校施設、公共の体育館、公民館 等

○屋外会場例：学校の校庭、公共のグラウンド、自動車教習所 等

会場を学校施設等とする場合は、教育関係機関に照会の上、協力を得るようにする。

プログラム内容について

予想される参加者実態を考慮し、3時間を目安として、プログラム内容を検討する。

なお、スクエアドストレイト方式による講習を組み入れる予定。

参加者募集方法について

参加対象の関係機関・団体等との連携・協力を考慮した、効果的な募集方法を検討する。

（例）

○子どもの募集先：保育園、幼稚園、小学校、幼児交通安全クラブ 等

○親（保護者）の募集先：PTA、交通ボランティア団体 等

○高齢者の募集先：老人クラブ（高齢者団体）、交通安全協会、自治会 等

プログラム実施体制及び役割分担について

プログラムを実施するための必要な体制及び役割分担について検討する

○受付、会場整理、参加者誘導、来賓案内・応接、司会進行、指導者、備品準備、啓発品配布、音響・照明、救護、駐車場、記録写真・記録映像、会場清掃・撤去 等

参加者の案内及び誘導方法について

会場周辺の交通整理、会場施設の安全確保、救護所の設置、非常時誘導方法、誘導路の確認等、参加者の安全管理対策について検討する。

参加者アンケート調査の実施方法について

アンケート調査の回収率を高めるための実施・回収方法について検討する。(回収率 100% 目標)

緊急時連絡網について

自然災害等の不測の事態が生じた場合を想定した緊急連絡網の作成及び関係者への周知方法等について検討する。

会場設営準備及びリハーサルについて

実際のタイムスケジュール(実施マニュアル)に沿ってリハーサルを行い、予定時間、施設設備や準備する備品等に不備がないか最終確認する。

協力スタッフの募集について

プログラム実施上必要な協力スタッフ(標準的人数は 10 名程度)の募集・人選等に協力する。

3. 事後実行委員会検討事項について

参加者アンケート結果の報告

プログラムの評価及び今後の課題について

2. 実施マニュアル(例)

ちいき こうつうあんぜんきょうしつ 地域みんなの交通安全教室 in

- 令和元年度参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業 -

【実施マニュアル】

主 催 内閣府

地区参加・体験・実践型
交通ボランティア養成事業実行委員会

事務局 (一財)日本交通安全教育普及協会

～ 目 次 ～

事業概要
実施態勢
進行スケジュール
進行台本
役割分担一覧
会場レイアウト図
緊急連絡網
準備物品等チェックリスト一覧
実行委員会名簿

【事業概要】

1 事業名

交通安全教室 in〇〇（地域提案型交通安全支援事業）

2 目的

本事業は、内閣府が地方公共団体の提案を受け、当該地域の実情を踏まえた上で、当該地域において必要な交通安全に資する事業を実施することにより、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的とする。

3 主催

内閣府、〇〇実行委員会

4 事務局

一般財団法人日本交通安全教育普及協会

5 日時

令和元年〇〇月〇〇日（〇）〇〇：〇〇～〇〇：〇〇

6 場所

〇〇小学校（〇〇県〇〇市〇〇 TEL 〇〇 - 〇〇 - 〇〇）

7 参加者

交通指導員等、地域における交通安全の指導者的立場にある高齢者 〇〇名

8 プログラム内容

(1) 開会（主催者挨拶、来賓紹介等）

(2) 参加・体験型交通安全教室の開催

県警ブース

- ・歩行シミュレーター、自転車シミュレーター体験
- ・体験機器を使用した交通安全学習（酒酔いゴーグル、俊敏性測定機器等）
- ・反射材効果体験ほか

サポカーブース

- ・セーフティ・サポートカー体験乗車、展示車見学

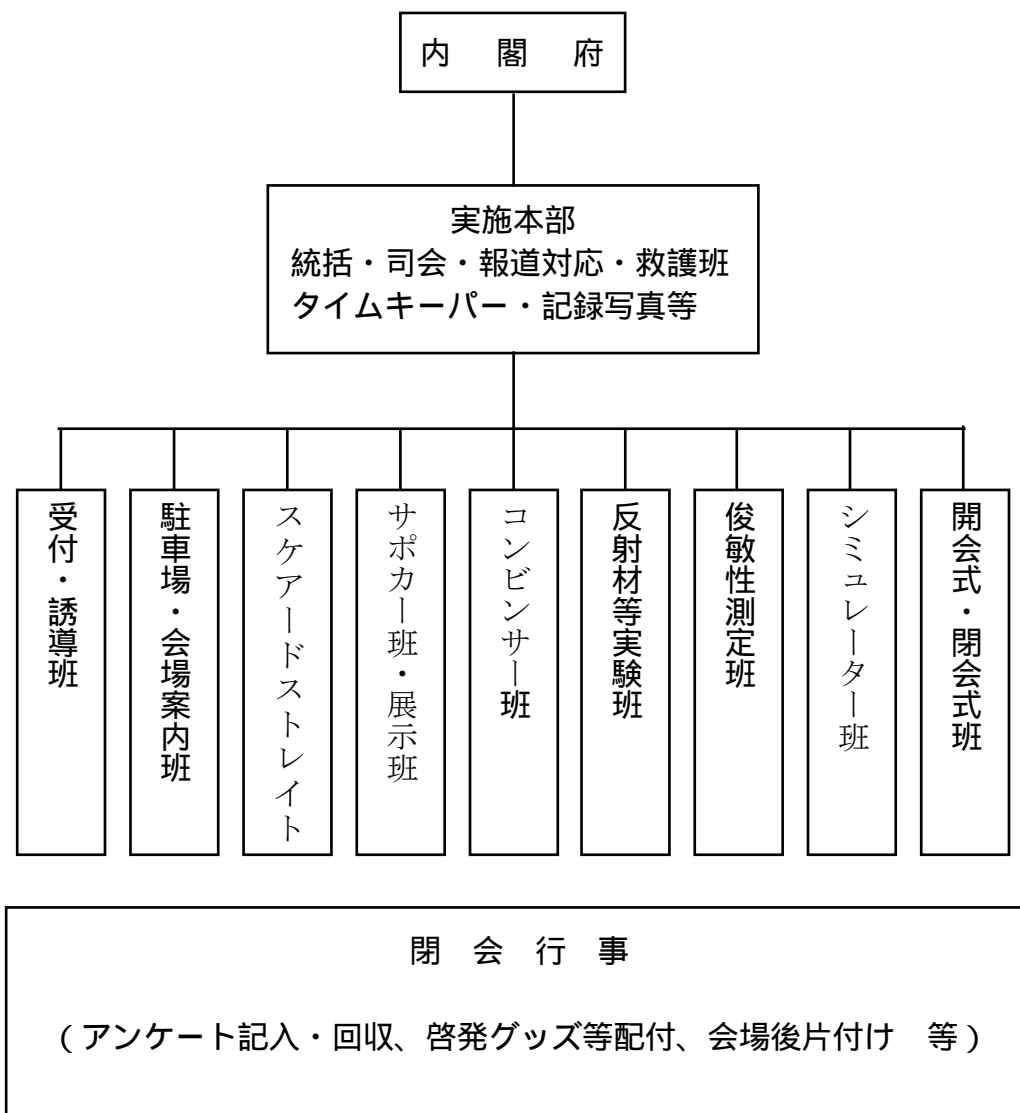
コンビンサーブース

- ・シートベルトコンビンサー体験

(3) スケアード・ストレイト見学

(4) 閉会（閉会挨拶、アンケート回収等）

【実施体制】



【進行スケジュール】

〇〇月〇〇日(〇)

時 間	内 容 等
	○歩行シミュレーター等の必要器材、配布物等の搬入 別添「交通安全教室使用物品チェックリスト」参照

〇〇月〇〇日(〇) 参加者：〇〇人

時 間	内 容 等	
	実行委員・協力スタッフ集合(各班のセッティング、リハーサル) 横断幕、案内看板(会場、駐車場)設置	
	受付(来賓名簿、参加者名簿のチェック)	
	開会式(主催者、実行委員長挨拶、来賓紹介、イベント紹介等)	
参加・体験型交通安全教室		
	Aチーム(反射タスキ：ブルー)	Bチーム(反射タスキ：ピンク)
	【体育館】 歩行シミュレーター 自転車シミュレーター 俊敏性測定機器体験 反射材効果実験 酒酔い疑似体験	【校庭】 セーフティ・サポートカー ・体験乗車(〇〇台) ・車両展示(〇〇台) シートベルトコンビンサー
	【校庭】 セーフティ・サポートカー ・体験乗車(8台) ・車両展示(12台) シートベルトコンビンサー	【体育館】 歩行シミュレーター 自転車シミュレーター 俊敏性測定機器体験 反射材効果実験 酒酔い疑似体験
	スケアードストレイト見学	
	閉会行事(アンケート調査票記入、回収、啓発グッズ配付等)	

【進行台本】

事前広報 ○：○～○：○

時間	事項	場内案内アナウンス等	準備等
	受付開始	<p>○参加者名簿チェック</p> <p>○班毎に指定した色付き反射たすきを配布 (A班:ブルー色、B班:ピンク色)</p> <p>○来賓、参加者にプログラム等を配布</p>	<p>プログラム</p> <p>反射たすき</p> <p>アンケート調査票</p>
		<p>本日は、「交通安全教室 in 〇〇」にご参加いただきまして誠にありがとうございます</p> <p>間もなく開会の時刻となります。</p> <p>開会式会場は、建物と教習コースの間となりますので、速やかにご集合ください。</p>	<p>主催者、来賓</p> <p>実行委員等会場へ誘導</p>

開会・交通安全教室 ○：○～○：

時間	事項	アナウンス	準備等
	開会	<p>みなさん、こんにちは。只今より、「交通安全教室 in 〇〇」を開会いたします。</p> <p>本日の司会を務めます事務局の 〇〇 と申します。よろしくお願いいたします。</p>	<p>来賓、実行委員代表等、定位置</p>
	主催者挨拶	<p>開会にあたりまして、当事業の主催者であります、内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付交通安全啓発担当 〇〇 〇〇がご挨拶申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">～ 挨拶 ～</p>	
	実行委員会委員長挨拶	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、当事業の実行委員会を代表いたしまして、〇〇 〇〇 〇〇 〇〇がご挨拶申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">～ 挨拶 ～</p>	
	来賓紹介	<p>本来でしたら、皆様よりご挨拶を頂戴したいところですが、お時間の関係もございますので、ご紹介とさせていただきます。</p> <p>〇〇市 〇〇部 〇〇課 〇〇様 警察署 〇〇課 〇〇様です</p>	
	スケジュール説明	<p>続きまして、本日のスケジュールにつきまして、簡単にご案内させていただきます。</p> <p>皆様、色つきの反射タスキを身に着けていらっしゃいますがブルーがAチーム、ピンクがBチームとなっています。</p> <p>〇時〇分まで、Aチーム(ブルー)の方は、自動車学校建物2階でシミュレーターなどの体験を、Bチーム(ピンク)の方は、屋外にありますサポカー乗車体験、展示車両の見</p>	

	<p>学、シートベルトコンビンサーなどを体験していただきます。</p> <p>○時○分に、Aチーム、Bチームが交代してそれぞれ体験していただきます。</p> <p>○時○分から屋外コースにて、プロスタントマンによる「スケアードストレイト」を見学していただきます。</p> <p>ご不明な点等がありましたら、ご遠慮なくお近くのスタッフにお申し付けください。</p> <p>なお、万が一体調がすぐれない方がおられましたら、お近くのスタッフにお申し付けください。</p> <p>それでは、よろしくお願いいたします。</p>	
--	--	--

スケアードストレイト・閉会 ○:○~○:○

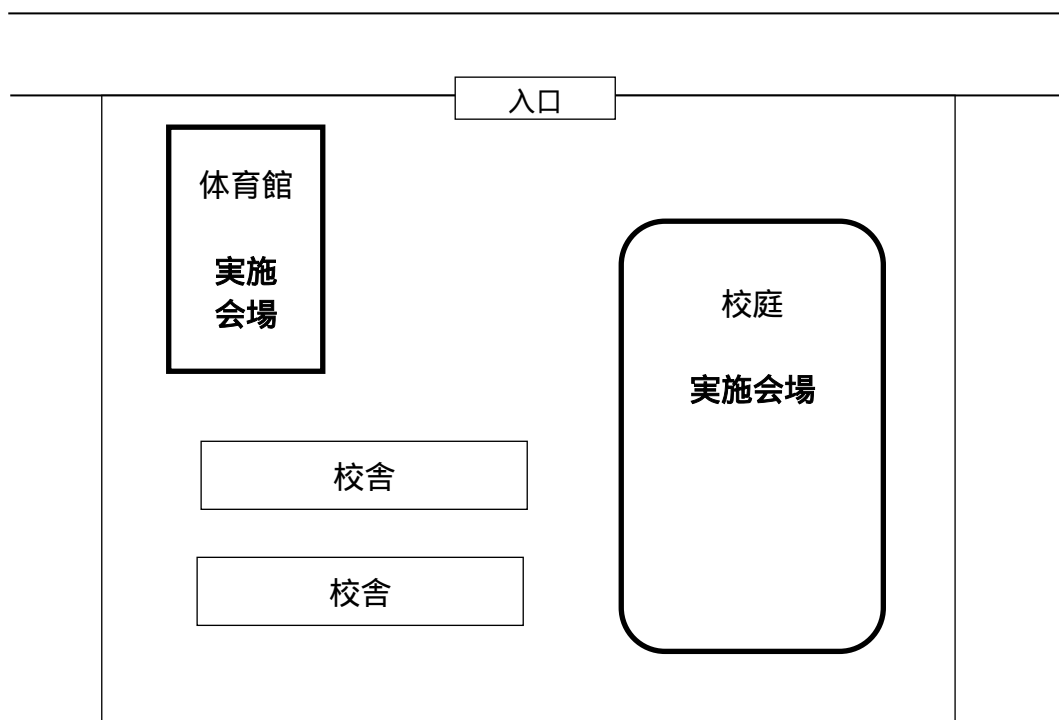
時間	事項	アナウンス	準備等
	事前告知 (1回目)	皆さん、この後○時○分から、屋外コースにおきまして、プロスタントマンによる「スケアードストレイト」を行います。 スタントマンの方々が、日常起こりやすい交通事故を再現していただきます。お時間になりましたら、屋外コースにお集まりください。	
	事前告知 (2回目)	スケアードストレイト開始5分前となりました。交通事故再現は屋外コースで行われますので、皆様お集まりください。	
	スケアードストレイト開始	それではお待たせしました。プロスタントマンによる交通事故再現「スケアードストレイト」をご覧ください。 本日実施していただきますのは、「○○」の皆様です。 皆様、大きな拍手でお迎えください。	
	スケアードストレイト終了	皆様、いかがでしたか。 「○○」の方々に日常起こりやすい交通事故再現をしていただきました。交通事故の恐怖を実感していただけましたか。交通事故に遭わないようにするためには、「交通事故につながる危険な行為をしない」ことが重要だということを実感していただけましたと思います。 ここで今一度、「○○」の皆様方に盛大な拍手をお願いいたします。	
	閉会	以上をもちまして「交通安全教室 in _____」を開会いたします。お帰りの前にアンケートをご記入いただき、記念品をお持ち帰り下さい。 本日はご参加いただきありがとうございました。	

【役割分担一覧】

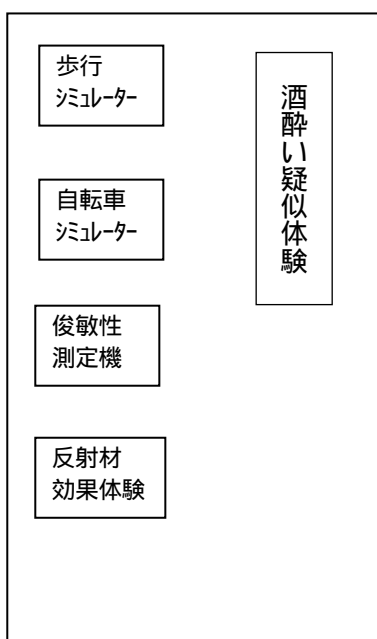
役 割	所 属	氏 名
総括		
司会		
報道対応		
救護		
写真・記録等		
受付（受講者）A組		
受付（受講者）B組		
駐車場（普通車）		
駐車場（大型車）		
歩行シミュレーター		
自転車シミュレーター		
酒酔いゴーグル		
クイックアーム		
クイックキャッチ		
クイックステップ		
コンビンサーブース		
サポカーブース		
反射材ブース		

【会場レイアウト(図)】

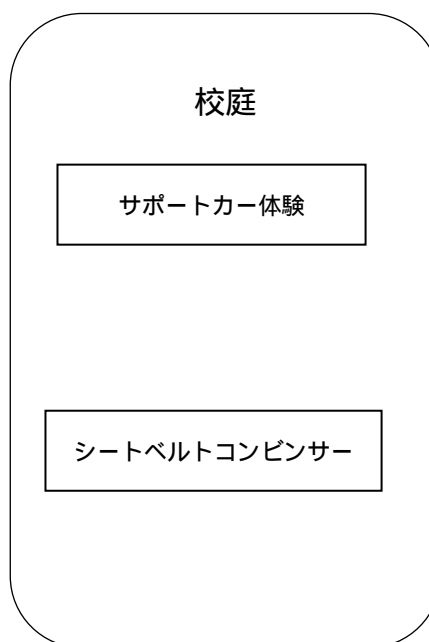
図 【〇〇小学校会場全体図】



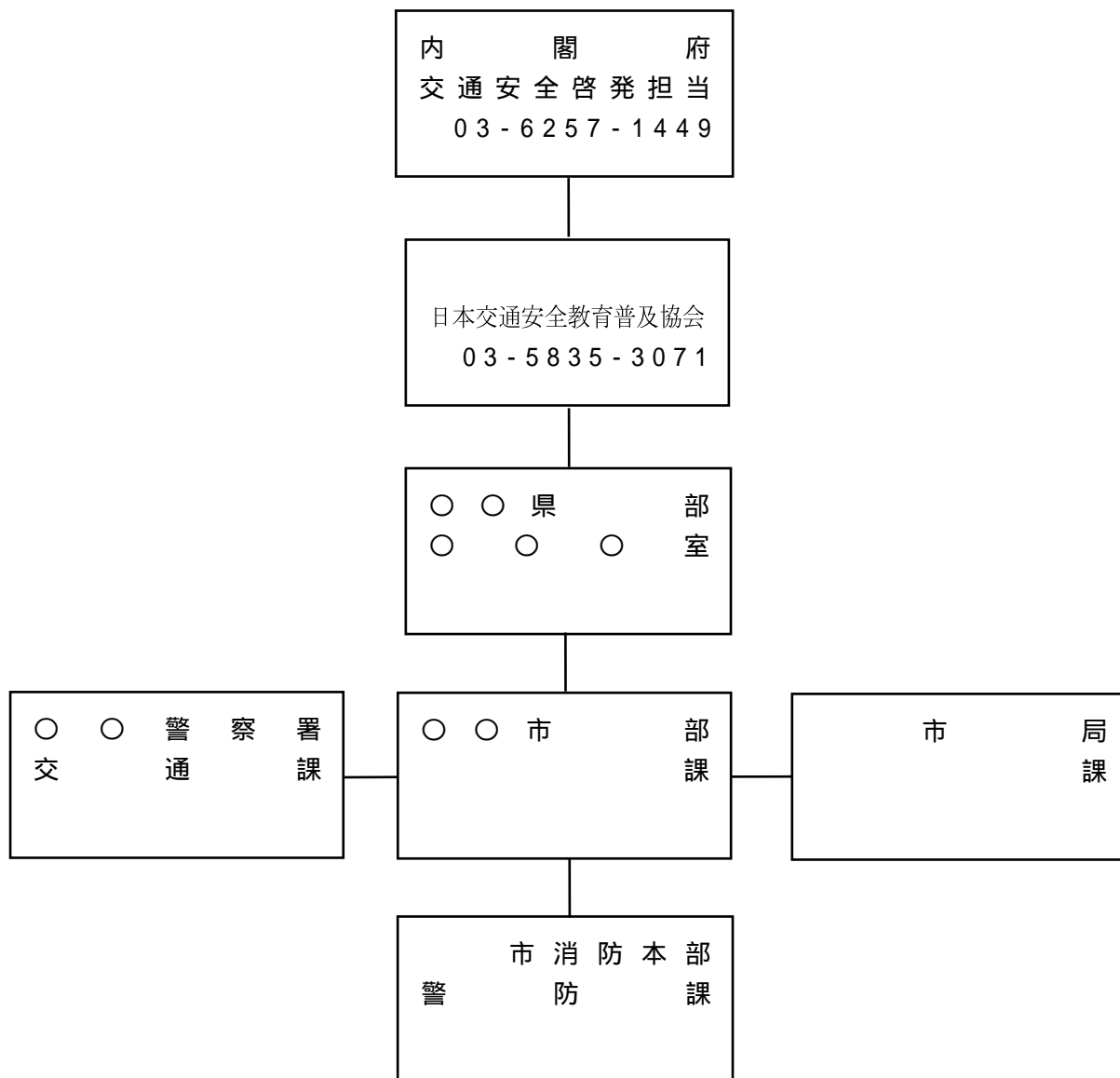
【体育館】



【校庭】



【緊急連絡網】



【準備物等チェックリスト一覧表】

物 品 名	数 量	チエック	備考（担当等）
横断幕	1		
のぼり旗（棒）	2		
のぼり旗土台（水入れ用）	2		
ビニールひも	1		
はさみ、カッター	各1		
駐車場案内看板	2		
会場案内看板	1		
受付名簿（A班・B班）	各1		
受付机、受付札	1		
プログラム	100		
反射たすき（ブルー・ピンク）	50		
ジャンパー・帽子	50		
啓発品 1	100		
啓発品 2	100		
サポカー啓発封筒	100		
啓発冊子 1	100		
啓発冊子 2	100		
啓発冊子 3	100		
歩行シミュレーター	2		
自転車シミュレーター	1		
酒酔い体験ゴーグル	6		
カラーコーン	18		
クイックアーム	1		
クイックキャッチ	1		
クイックステップ	1		
デジタルカメラ	1		
ゴーグルライト	10		
文房具	1		
シートベルトコンビンサー	1		
音響機材	1		
ワイヤレススピーカー	2		
マイクスタンド	1		
長机 2、いす 4			

【実行委員等名簿（順不同・敬称略）】

	役職等	氏名	所属等
1	委員長		
2	副委員長		
3	委員		
4	〃		
5	〃		
6	〃		
7	〃		
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	〃		
12	〃		
13	〃		
14	〃		
15	〃		
16	事務局		
17	〃		

3. アンケート調査票（千葉会場）

[高齢者用]

【千葉県柏市 令和元年 12月 2日】

高齢者交通安全講習会 アンケート

今後の事業への参考とさせていただきますので、アンケート調査にご協力ください。

問1 はじめに、あなたのことについて、教えてください。

- (性別) 1 男 2 女
(年齢) 1 60代 2 70代 3 80代 4 90歳以上
(運転免許) 1 あり 2 なし

問2 今日の行事に参加したきっかけ(理由)は何でしたか。あてはまるもの全てに を付けてください。

- 1 交通安全に興味があった 2 市町等・敬老会からの案内によって
3 知人に誘われた 4 家族に勧められた
5 おもしろそうだった 6 その他()

問3 今日の行事に参加しての感想をお聞かせください。

(1) 今日の行事に参加して、

- 1 大変良かった 2 良かった 3 ふつう 4 良くなかった
5 全然良くなかった

(その理由:)

(2) 今日の各プログラムをどう思われますか。各プログラムの評価番号に を付けて下さい。

プログラム名	大変良かった	良かった	ふつう	良くなかった	全然良くなかった
講義(柏警察署交通課)	1	2	3	4	5
<input type="checkbox"/> 体験 サポカー・スマアシ	1	2	3	4	5
<input type="checkbox"/> 体験 飲酒ゴーグル・ちとらく	1	2	3	4	5
実技講習を受講した方のみ ご回答ください					
自動車運転実技講習	1	2	3	4	5

お手数ですが裏面もご回答下さい

問4 今日の行事に参加しての、あなたの今の気持ちをお聞かせください。

- (1) 交通ルールや交通マナーを守らなければいけないという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (2) 道路状況や交通状況などに十分注意して行動しようという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (3) 友人や仲間と、交通安全について話し合おうという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (4) 地域の子どもたちや地域の皆さんを、交通事故から守ろうという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (5) 交通安全のために、あなた自らが地域で何か役割を果たそうという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (6) これからも機会があれば交通安全教室に参加しようという気持ちになりましたか。
1 はい 2 いいえ

問5 次の各項目にお答えください。

- (1) 開催日(曜日を含む)について 1 良かった 2 良くなかった
(その理由:)
- (2) 行事全体の時間の長さについて 1 良かった 2 長かった 3 短かった
(その理由:)
- (3) 参加者の数について 1 良かった 2 多かった 3 少なかった
(その理由:)
- (4) プログラム(ブース)の数について 1 良かった 2 多かった 3 少なかった
(その理由:)
- (5) プログラム(ブース)の中での説明の仕方について 1 良かった 2 良くなかった
(その理由:)
- (6) 全体の流れ(進行)について 1 良かった 2 良くなかった
(その理由:)

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

(ご記入いただいたアンケート用紙は、係員までお渡しください。)

4 . 配布啓発資料・啓発グッズ

開催県	対象者	啓発資料	啓発グッズ
千葉県	参加者	笑顔あふれる交通安全 安全運転 10 の心得	緊急ホイッスルライト